

## 20 阿弥緑地環境保全地域



### 1 地域指定

- (1) 指定地域 阿弥神社周辺一帯（阿見町）
- (2) 指 定 昭和57年3月25日（茨城県告示第437号）

### 2 保全計画の概要

#### (1) 指定理由

本地域は、スギを主とし、スダジイ、シラカシ等常緑樹の混生する森林である。

スギ、常緑樹とも大径木となって、うっそうとした樹冠を形成しており、周辺の新興住宅地の中であって、ひときわすぐれた環境を維持している。

また、林内には南方系のモンキアゲハ、アオスジアゲハ等希少性を有するチョウが数多く生息している。

さらに、人家近くに住む留鳥、渡り鳥も数多く確認される等良好な自然環境を形成しているため保全する必要がある。

このため、本地域は茨城県自然環境保全条例第10条第1項第1号に規定する「樹林地が集落地周辺と一体となって良好な自然環境を形成している区域」に該当する。

#### (2) 自然環境の概要

##### ア 植 生

スギを主とする針葉樹林にスダジイ、シラカシ、シロダモ、クスノキの常緑樹、ムクノキ、カ

ヤが混生している。

林内にはヒサカキ、テイカカズラ、ヤブツバキ、ゴンズイが見られ、草本層にはヤブミョウガ、フジカンゾウ、ヤブラン、ミズヒキ、キツタ、ウバユリ等が生育している。

上層木は大径木となっており、県南地方において希少価値を有する樹冠で、貴重な森林構成を形成している。

また、落葉樹のゴンズイ、常緑性多年草のヤブミョウガは、関東地方以西に分布する種である。

### イ 野生動物

スギ林内にスダジイ、シラカシなどが混生していることから、常緑樹を好む南方系のアオスジアゲハ、モンキアゲハのほかにはイチモンジセセリ、コチャバネセセリ、アゲハ、クロアゲハ、キアゲハ、キチョウ、モンキチョウ、ベニシジミ、ヤマトシジミ、ツバメシジミ、コムスジ、アカタテハ、コジャノメ、ヒメウラナミジャノメ等のチョウ類、昆虫類が豊富に生息している。

また、人家近くに住むコジュケイ、キジバト、ヒバリ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、メジロ、ホオジロ、アオジ、カワラヒワ、シメ、ムクドリ、カケス等の留鳥又は標鳥がおり、アオバズク、サンショウクイ、ジョウビタキ、カシラダカ、マヒワ等の渡り鳥も数多く見られる。

### (3) 自然環境の保全に関する基本的な事項

本地域は、スギを主とする針葉樹林に、スダジイ、シラカシ、シロダモ、クスノキの常緑樹等が混生している森林である。

上層木は、うっそうとした樹冠を呈し、県南地方においては希少価値を有しており、関東地方以西に分布域を持つヤブミョウガ、ゴンズイも生育し、特徴のある植生となっている。

また、南方系のモンキアゲハ、アオスジアゲハ等のアゲハチョウ、シジミチョウ、ジャノメチョウ類、昆虫類が数多く生息している。

さらに、人家近くで繁殖する留鳥、渡り鳥も数多く見られる等、良好な自然環境を形成しており、これらの動植物を維持するため、自然環境の保全を図る。このため、保全に必要な規制は条例の定めにより行う。

### (4) 保全施設に関する方針

巡視歩道、標識、廃棄物処理施設、植生復元施設、病害虫防除施設、給餌施設、養殖施設等を必要に応じて設ける。

## 3 地区の指定に関する事項

本地域の区域は次のとおりとする。

単位：ヘクタール

名称	位置及び区域	面積	土地の所有別面積	摘要
阿弥緑地	稲敷郡阿見町大字竹来の一部	2.06	民有地	
環境保全地域	(別図のとおり)		2.06	

総括表

単位：ヘクタール

区分	内訳			計
	国有地	公有地	民有地	
土地所有別				
土地所有別面積	0	0	2.06	2.06

(面積は台帳面積による)



# 阿弥緑地環境保全地域位置図

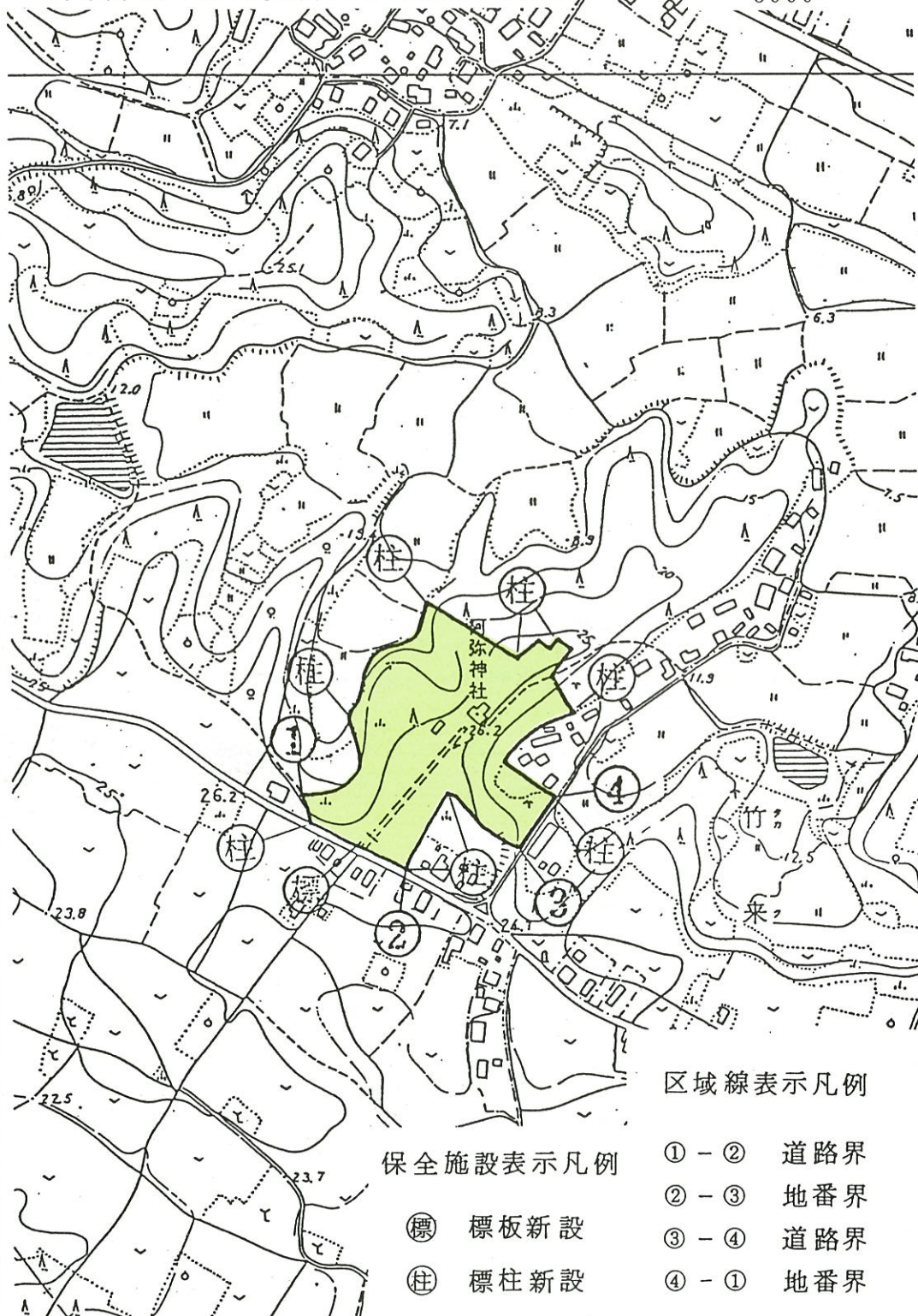
S =  $\frac{1}{50000}$





# 阿弥绿地环境保全地域区域图

S =  $\frac{1}{5000}$



区域線表示凡例

- ① - ② 道路界
- ② - ③ 地番界
- ③ - ④ 道路界
- ④ - ① 地番界

保全施設表示凡例

- ⊙ 標板新設
- ⊕ 標柱新設